

水防訓練の実施

墨田区

○東京消防庁第七消防方面本部と合同で水防訓練を実施



水害ハザードマップの改定及び周知

○荒川流域における想定最大規模の降雨を想定したハザードマップを作成

ハザードマップ添付

墨田区水害ハザードマップ
Sumida City Flood Hazard Map
墨田区水灾风险地图
스미다구 수해 해저드 맵

日本語版

墨田区水害ハザードマップは、荒川が氾濫した場合と局所的集中豪雨による雨水出水（都市型水害）が発生した場合のリスクや、避難に関する情報などを地図と冊子にまとめたものです。このハザードマップは、日本語版と外国語版の2種類があります。区役所と各出張所で配布しており、また、区のホームページでダウンロードすることもできますので、ぜひご利用ください。

The Sumida City Flood Hazard Map is a map and booklet that provides risks and evacuation information in case the Arakawa River overflows, or in case there is rainwater flooding (urban-type flooding) due to local heavy rainfall.

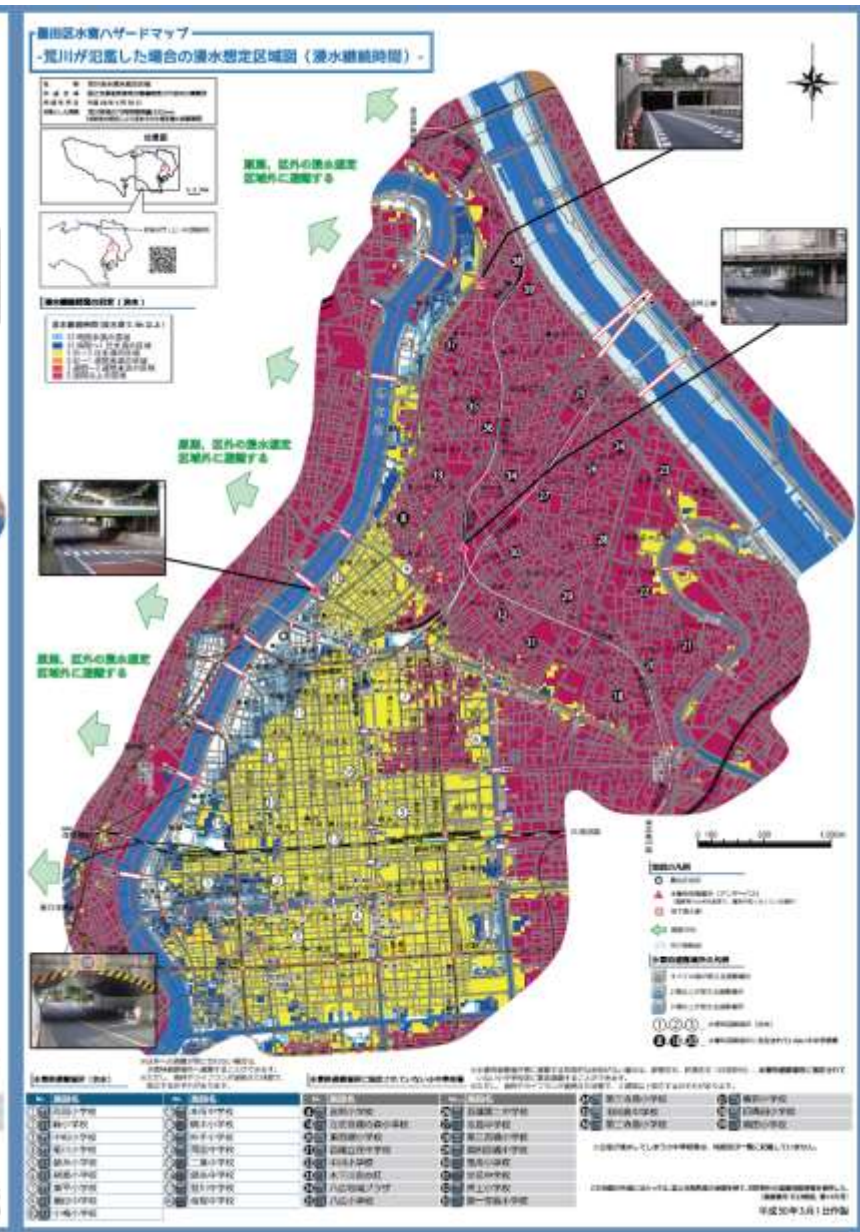
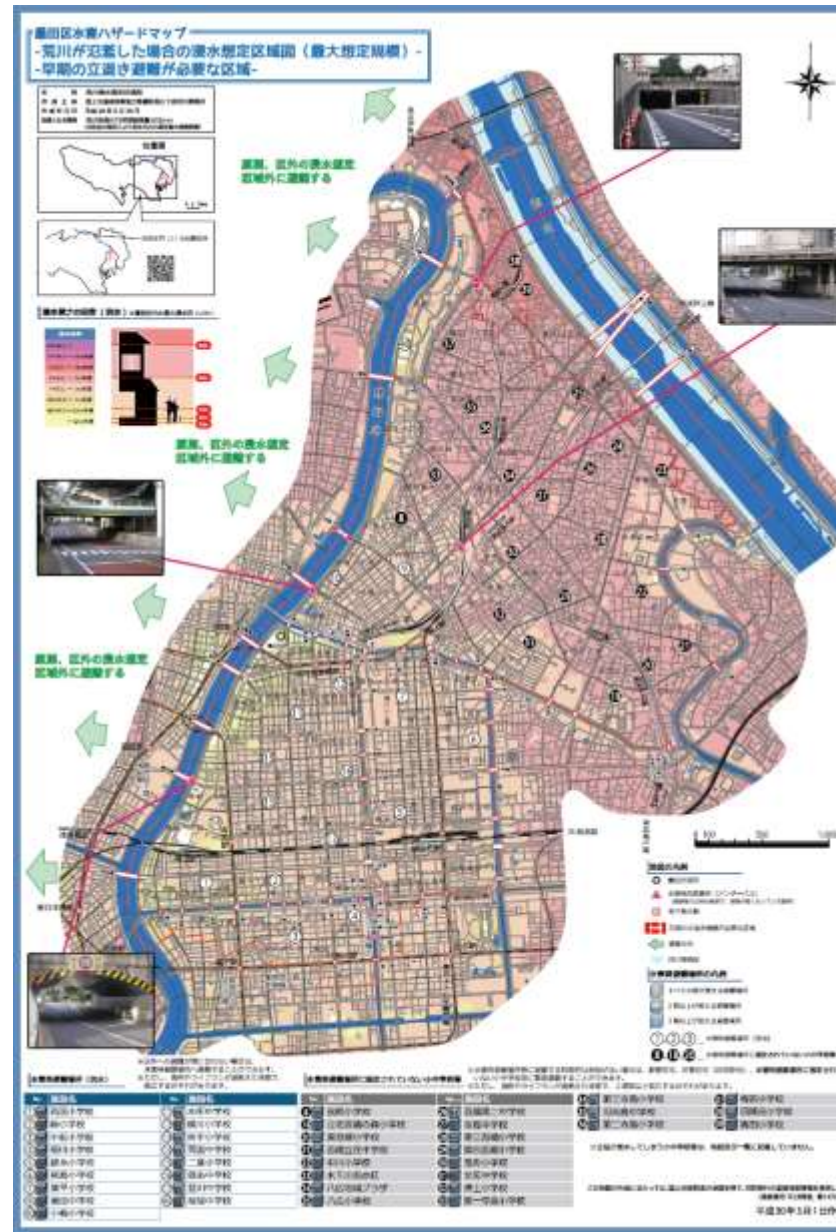
There are two versions of this hazard map – a Japanese version and three foreign language version. It is distributed for your use at the city office and each branch office, and can also be downloaded from the city website.

墨田区水灾风险地图，是将荒川泛滥时和局部集中暴雨导致发生雨水积水（都市型水灾）时的风险和避难信息等归纳总结制作的地图和小册子。

水灾风险地图有日语版和外语版2种，在区政府和各办事处分发，还可以从墨田区的官网下载，请务必使用。

스미다구 수해 해저드 맵은 여러카와가 범람한 경우와 국소적인 집중 호우에 의한 빗물 증수（도시형 수해）가 발생한 경우의 위험 및 대피에 관한 정보 등을 지도와 책자로 정리한 것입니다。

이 해저드 맵은 일본어판과 외국어판의 2종류가 있습니다. 구청과 각 출장소에서 배부하고 있으며, 스미다구 홈페이지에서도 다운로드할 수 있으므로 많이 이용해 주십시오。



○改定したハザードマップは区内全戸に配付し、区民等に周知を図った。

浸水実績等の周知

江東区

- 取組主体：江東区
- 開催頻度：毎年7月～9月頃開催
- 過去の水害の記録や歴史のパネル展示
- ハザードマップと展示資料冊子の配布



水害ハザードマップの作成、改良と周知

江東区

- 取組主体：江東区
- 広報掲載日：平成30年6月11日、平成30年8月11日
- 区報よるハザードマップの 周知促進

6/11

大雨浸水に備えを
事前の対策と正確な情報収集で安全を確保

8/11

水害から身を守るために
ハザードマップの確認を

- 取組主体：江東区、城東消防署、深川消防署
- 取組参加機関：城東消防団、深川消防団、
城東災害時支援ボランティア、深川災害時支援ボランティア
区内町会・自治会、江東区建設業協会、国土交通省、
東京都下水道局
- 開催日：平成30年5月22日
- 水防訓練と各種水防工法の実施
- 協力機関による特殊車両やパネルの展示



防災情報サービス端末の設置

1 概要

災害時に拠点となる区施設及び要配慮者利用施設、自治町会に確実に避難情報が届くようにするため、屋内でも防災行政無線の内容を聞き取ることができる「防災情報サービス端末」を設置するもの（平成31年3月までに設置予定）

2 「防災情報サービス端末」の概要

- ・ 防災行政無線を受信し、屋外の音声と同じ内容を放送
- ・ 緊急地震速報を受信し、音声とランプでお知らせ
- ・ FM放送ラジオの受信

3 設置対象施設

- ・ 第一順位避難所（各区立小中学校）
- ・ 要配慮者利用施設（特別養護老人ホーム、保育園、幼稚園等）
- ・ 地域防災計画で定める拠点施設（各地区センター等）
- ・ 各自治町会（1自治町会あたり3台まで）

防災情報サービス端末



水陸両用車(すい防)の導入

葛飾区

水陸両用車（愛称：すい防）の運用を平成30年2月1日より開始。

地域の防災訓練等で活躍しており、水陸両用車は・飾区総合防災訓練では江戸川に、国土交通省荒川下流河川事務所が実施した荒川下流防災施設現地実動訓練では荒川に入水した。



水害ハザードマップの改定と啓発

江戸川区

○平成30年8月22日 「江東5区大規模水害ハザードマップ」を公表

江東5区大規模水害ハザードマップ

大規模水害から命を守ろう!

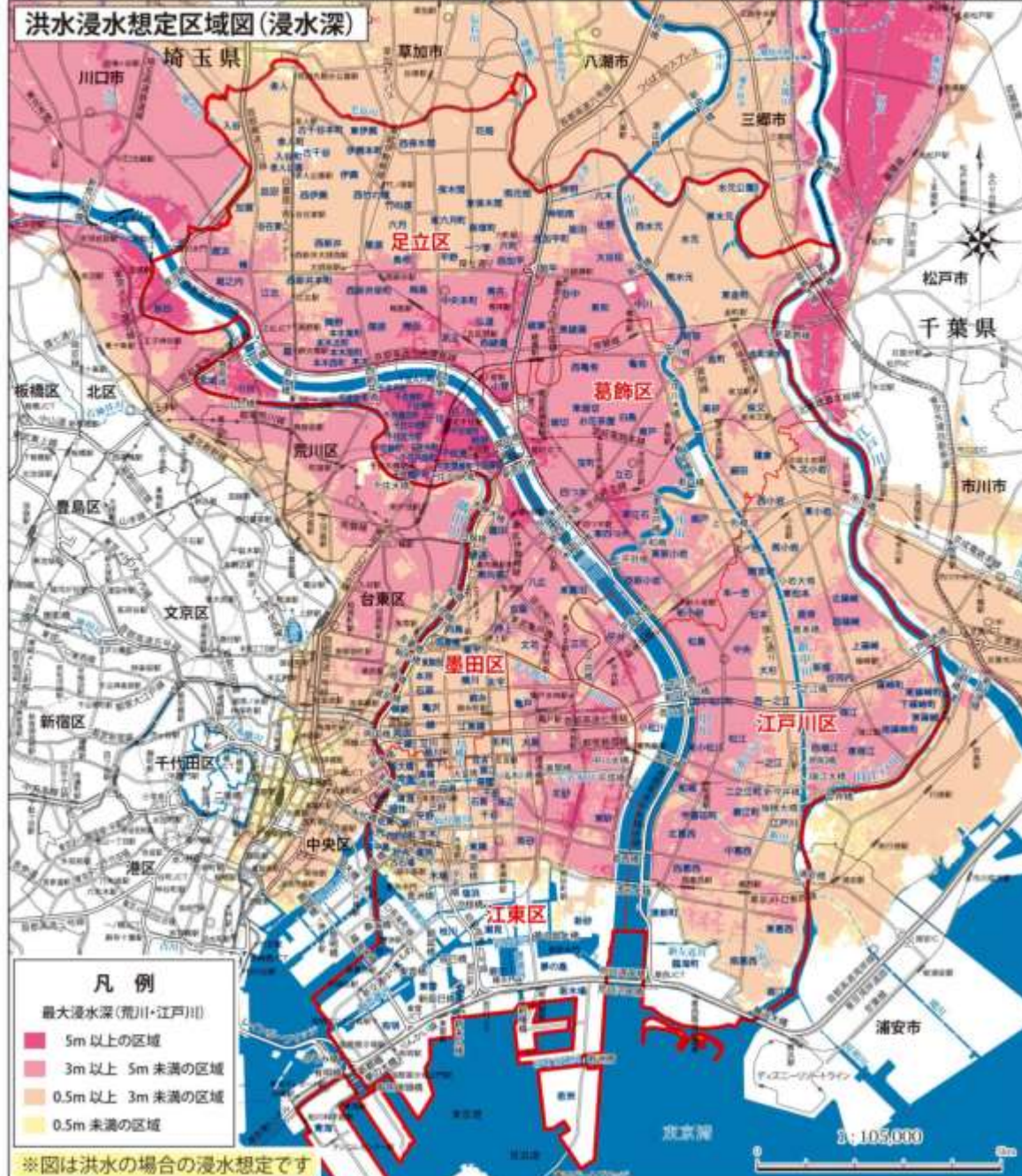
この地図の作成にあたっては、国土庁地質院の承諾を得て、河川発生の動植物園(国土基本情報)電子図上基本図(河川情報)を利用した。(承諾番号 平30地保第417号)

荒川と江戸川が氾濫するおそれがある場合の避難行動について区民の皆さんに考えていただくために、江東5区が共同で水害ハザードマップを作成しました。

このハザードマップは、荒川と江戸川の浸水想定区域図を重ね合わせて作成したものです。

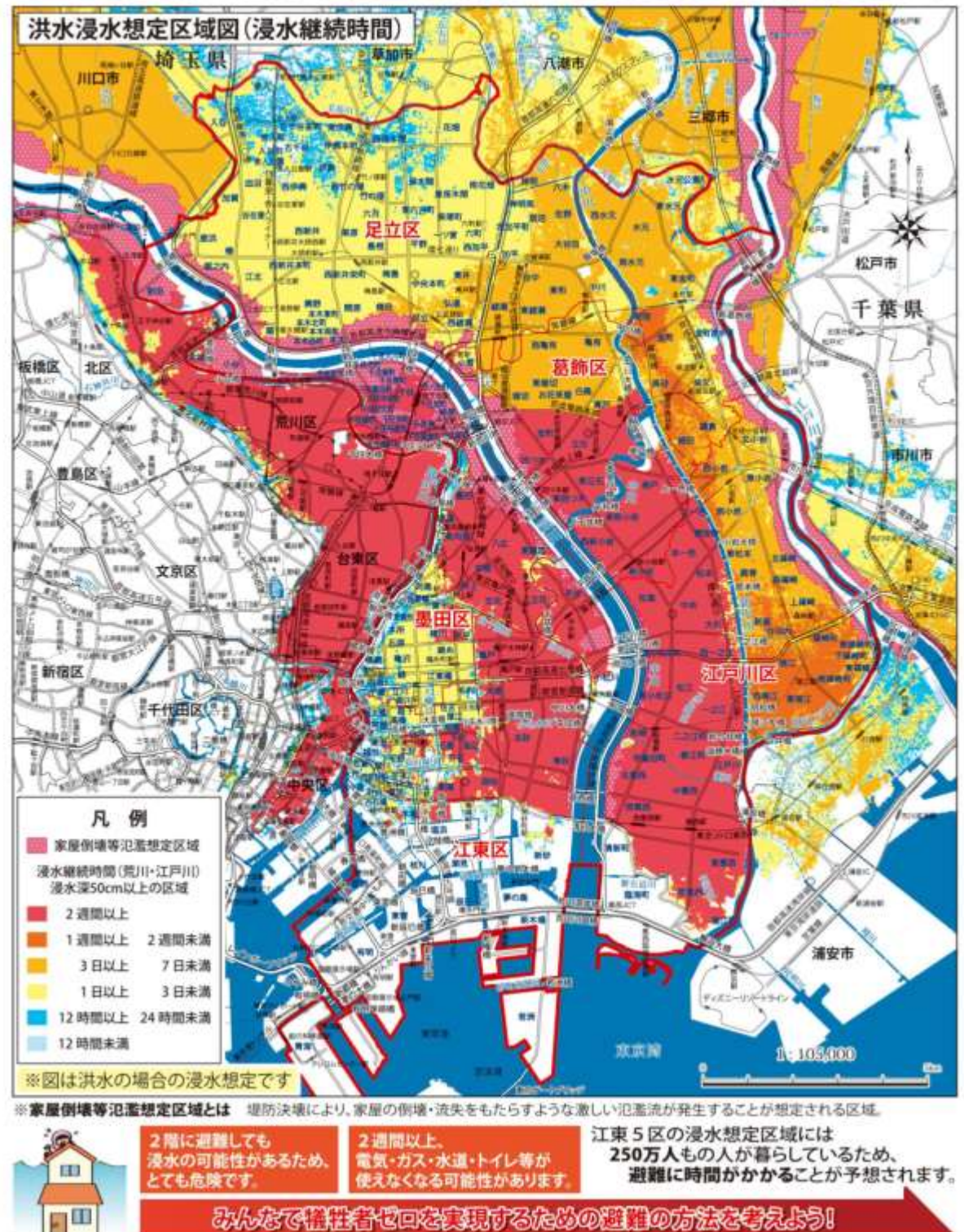
- 前提となる降雨(いずれも想定最大規模)
荒川:荒川流域の3日間総雨量632mm
江戸川:利根川流域の3日間総雨量491mm

発行:江東5区広域避難推進協議会 平成30年8月初版
お問い合わせ先:墨田区 03-5608-6206、江東区 03-3647-9584、足立区 03-3880-5349、葛飾区 03-5654-8572、江戸川区 03-5662-1992



自主的広域避難情報が発表されたら、すぐに江東5区外の安全な場所へ避難を開始してください。

※自主的広域避難情報とは
江東5区の区長が、江東5区の住民に対して、自主的に江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけること。(江東5区:墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区)

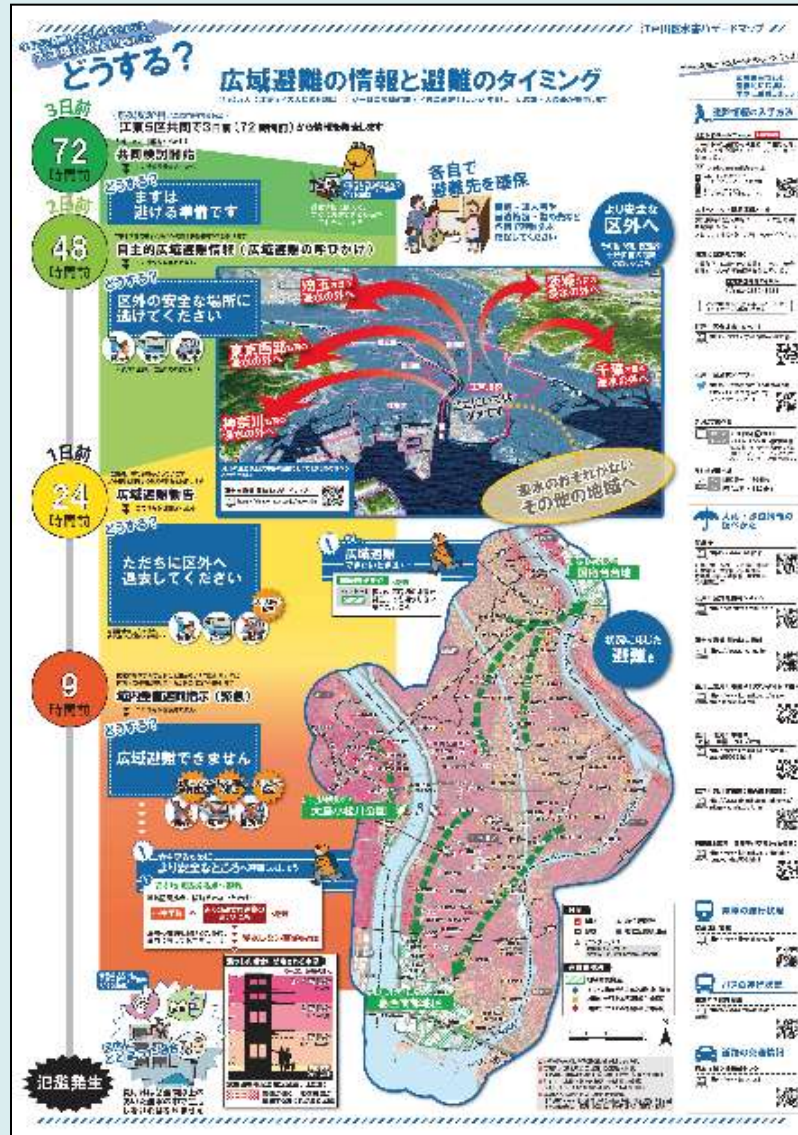
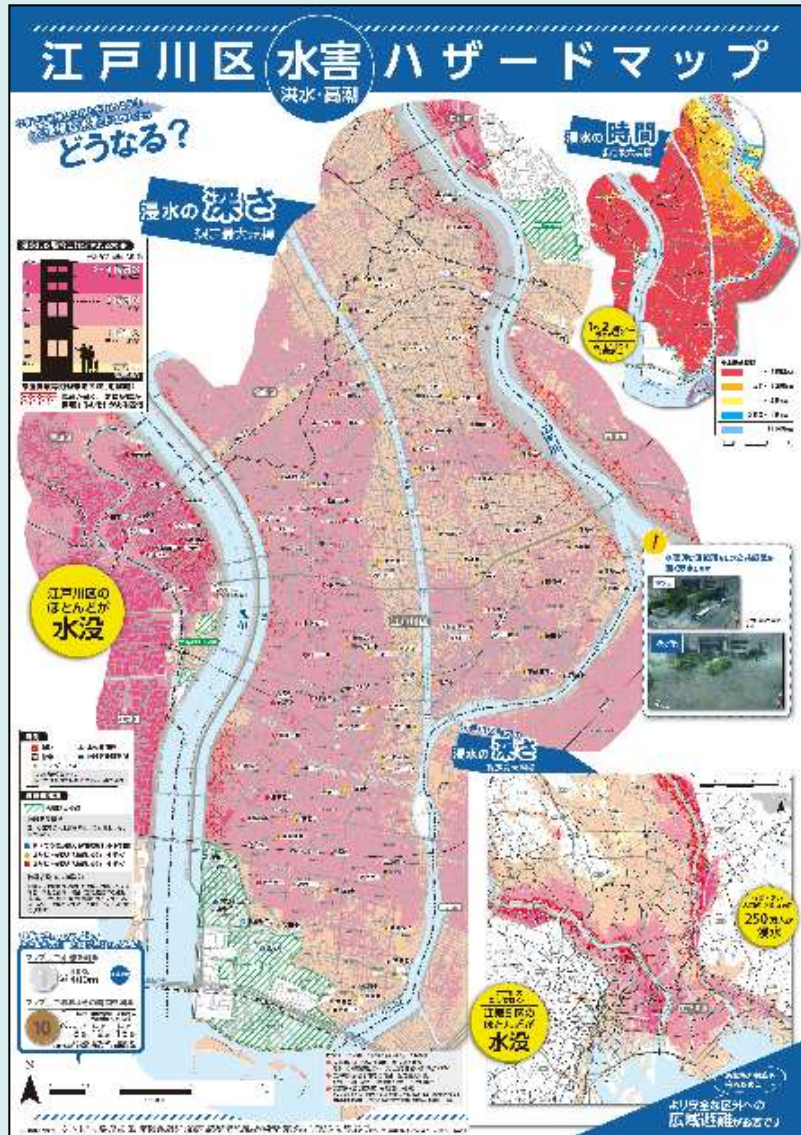


水害ハザードマップの改定と啓発

○「江東5区大規模水害ハザードマップ」に基づき「江戸川区水害ハザードマップ」を作成

大判(A1判 冊子に折込)

冊子(A4判)



○住民にわかりやすく理解してもらうため、下記の点を工夫した。

- ・イラストを多用、内容を絞り、知って欲しいことの明確化
- ・マップを1枚で大きく示し、どのように行動すればよいか分かりやすく掲載
- ・“命を守る”のは住民ひとり一人であり、“自ら行動することが必要”であることの理解を促進

水害ハザードマップの改定と啓発

○住民に分かりやすく理解してもらおう工夫：イラストを多用、マップ1枚で表示、自分事での理解促進

大規模水害が起こったらどうなる？ (冊子6ページより抜粋)

わが家の広域避難計画 (A3判 冊子に折込)

あなたの住まいや区内に居続けることはできません

荒川や江戸川が氾濫したり、高潮が発生すると長いところでは2週間以上浸水が続くことが予測されます。

区内の地震時の避難所へ避難すれば大丈夫と思っていると…

! 避難所も浸水し、2週間以上浸水の中に

マンションだから大丈夫、3階以上だから大丈夫と思っていると…

! 水道・電気・ガス・トイレが使えない状況で、長いところでは2週間以上生活

すぐに誰かが救助してくれると思っていると…

! 浸水の中に250万人救助しきれない

浸水の中で水が引くまで、長いところでは2週間以上も、水道・電気・ガス・トイレが使えない生活に耐えなければなりません。

のどが渇いても…水が出ない

洗たくできない

暑くても…エアコンが使えない

冷蔵庫の中身がダメに

ゴミがたまり続ける

汚物がトイレに流せずゴミになる

携帯電話もテレビもダメ

熱中症

おなかをこわす

台風シーズンは蒸し暑い季節なので衛生的にも精神的にも大きな負担となります。

記入例

わが家の広域避難計画

STEP 1 自宅がどうなるかもハザードマップで調べましょう

STEP 2 わが家の広域避難先を決める

STEP 3 いつ？ 誰か？ 何を？ するかを決める

家族の分も書きましょう

時間	江戸川区から避難	家	わたし	お父さん	お母さん	妹	行動
3日前 72時間前	共同検討開始 江東5区で共同検討を始めます	まずは逃げる準備です A 情報収集 B 避難の準備 C 連絡・声かけ D 避難	A3 B2	A1 A2 B1 B4	A1 A2 B2 B3 B4	A3	A A1 気象情報・台風情報を確認 A2 交通機関の運行情報を確認 A3 テレビ・ラジオをつける
2日前 48時間前	自主的広域避難情報(広域避難の呼びかけ) 江東5区外の安全な場所への自主的な避難を呼びかけます	区外の安全な場所へ逃げてください C 連絡・声かけを始める D 避難を始める	D1	C1 C5	D1	D1	B B1 家や周りの点検 B2 非常持ち出し箱の中身を確認 B3 必要なものの買い出し B4 ハザードマップで避難先・避難経路を確認 B5 自動車等を安全なところへ移動
1日前 24時間前	広域避難勧告 大規模な水害の命が危うい状況で避難を促すための情報を発信します	ただちに区外へ逃去してください	D3	D1 D3	D3	D3	C C1 近所への声かけ C2 家族と連絡を取り合う C3 広域避難先へ避難の連絡をいれる
9時間前	域内緊急避難指示(緊急) 避難場所とする避難所が不足している状況と見られる場合は、避難所を指定し、避難指示を行います	広域避難できません。近くの高い建物に避難	9	9	9	9	D D1 広域避難を始める D2 地域防災拠点へ避難を始める D3 避難完了

水害ハザードマップの改定と啓発

○広報えどがわ、区ホームページ、区民ニュース、ポスター、町会回覧などを用いて啓発

**「江戸川区水害ハザードマップ」と
「資源とごみの出し方基本ルール」を
5月20日月から順次、全戸配布します**



地区	日時	会場	定員(先着順)
中央	6月4日火	総合文化センター小ホール	500人
小松川		小松川区民館	300人
鹿骨	6月6日木	鹿骨区民館	282人
葛西	6月10日月	葛西区民館	501人
東部	6月11日火	東部フレンドホール	348人
小岩	6月14日金	小岩アーバンプラザ	386人

◎町会などの防災講演会や地域訓練でも説明会を行います。

問 防災危機管理課計画係 ☎5662-1992